

信金中央金庫 ～信用金庫の「中央金融機関」～

概要 (2023年3月末時点)

創立 信金中央金庫（略称：信金中金）は、全国の信用金庫を会員とする共同組織形態の金融機関であり、信用金庫の中央金融機関として1950年に創立しました。

上場 2000年に東京証券取引所に優先出資証券を上場しました（証券コード 8421）。

資金量

36兆円



会員数

254 金庫



役員員数

1,258人



拠点数

国内 14 箇所
海外 6 拠点



外部格付 (2023年3月末時点)

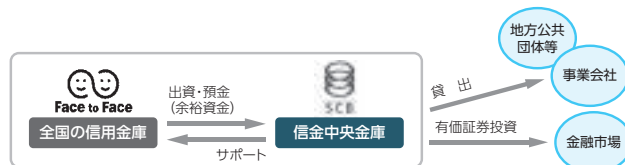
信金中金は、邦銀トップクラスの格付を有しております。

格付会社	長期	アウトルック	短期
Moody's	A1	安定的	P-1
S&Pグローバル・レーティング	A	安定的	A-1
格付投資情報センター	A+	安定的	—
日本格付研究所	AA	安定的	—

事業内容

信金中金は、さまざまな金融商品・サービスを提供しているほか、全国の信用金庫から預け入れられた豊富な資金を国内外の金融市場における有価証券投資や事業会社などへの貸出により運用しています。

また、信金中金は、「地域の課題を解決する機能」、「信用金庫のセントラルバンク機能」および「機関投資家としての機能」を有しており、地域社会の皆さまに質の高いサービスを提供することで、地域におけるさまざまな課題を解決し、信用金庫とともに持続的な成長を目指しています。



地域の課題を解決

地域の課題を解決する機能

信用金庫がお客さまのために持っている多様な業務をサポートし、顧客ニーズの多様化・高度化に信用金庫が迅速に対応できるよう、中小企業のビジネスマッチングや海外展開、個人の資産形成や相続、地域創生やフィンテックの活用などに取り組んでいます。

信用金庫のセントラルバンク機能

信用金庫の収益力向上や健全性確保などに向けて、信用金庫のセントラルバンクとして、コンサルティング機能のさらなる強化や信用金庫業界のサイバーセキュリティ対策のほか、信用金庫経営強化制度等の適時・適切な運営を通じて、信用金庫業界の信用秩序の維持に万全を期しています。

機関投資家としての機能

全国の信用金庫から預け入れられた預金や金融債を発行して調達した資金を、国内外の金融商品や事業会社などへの貸出により運用しています。また、グローバルに投資を行っている金融グループとして持続可能な社会の実現に向け、ESG投資等を推進しています。

中期経営計画

経営理念 信用金庫の中央金融機関として、信用金庫業界の発展につとめ、もってわが国経済社会の繁栄に貢献する。

2030年までに目指す姿 信用金庫は、信用金庫とともに、各々が強みとする分野への経営資源の適正配分を実現することで、1つの金融グループとして、より一体的な業務運営態勢を構築し、業界の競争力を高め、信用金庫が地域において最も信頼される金融機関となることを目指す。

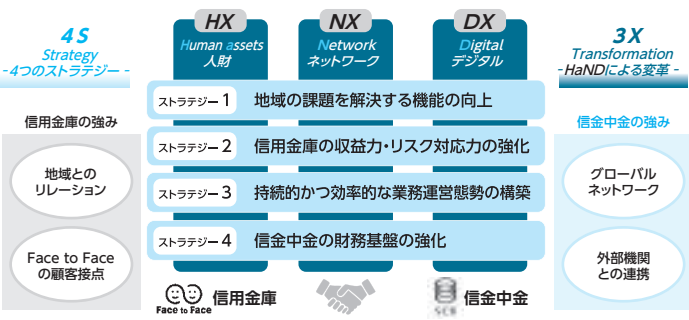
企業価値の向上と社会課題の解決の両立
＝
サステナブル経営の実現



- 共有すべき価値観**
- 信用金庫との「協働」
 - 外部とのコラボレーション
 - 「トライ＆ラン」の実践

中期経営計画『SCB戦略2022』～Road to 2030 地域の未来を信用金庫とともに～

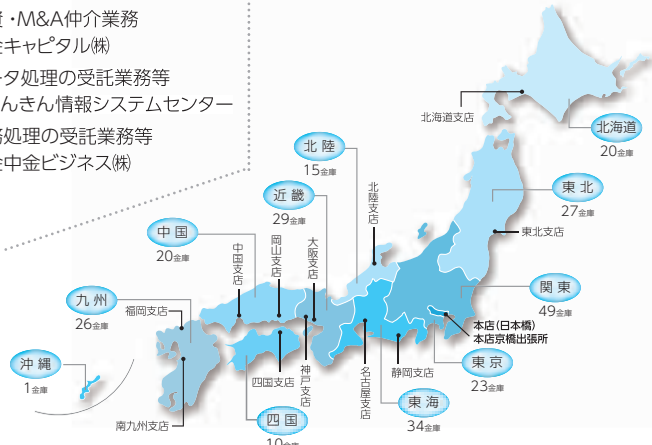
● 計画期間：2022年度～2024年度(3か年)



グループ紹介

- 証券業務
しんきん証券(株)
信金インターナショナル(株)
- 地域商社業務
しんきん地域創生ネットワーク(株)
※2021年7月創立・開業
- 海外ビジネス支援業務
信金シンガポール(株)
※2021年7月創立・開業
- 消費者信用保証業務
信金ギャランティ(株)
- 投資運用業務
しんきんアセットマネジメント投信(株)
- 投資・M&A仲介業務
信金キャピタル(株)
- データ処理の受託業務等
(株)しんきん情報システムセンター
- 事務処理の受託業務等
信金中金ビジネス(株)

信用金庫と信金中央金庫のネットワーク (2023年3月末時点)



日本全国に広がる254の信用金庫は、約7,100店舗のネットワークを形成しているほか、88万人を超える会員と160兆円の預金量を擁しており、わが国の金融業界の中で重要な地位を占めています。

また、信金中金グループは、信金中金およびグループ会社9社で構成されており、全国の信用金庫と連携しつつグループ一体となって幅広いサービスを提供しています。海外には6拠点を設け、現地銀行とも連携し、信用金庫取引先の海外進出などを支援しています。